

医薬品安全使用ニュース

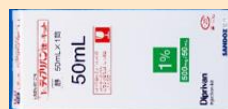
プロポフォール製剤の集中治療における人工呼吸中の鎮静に対する小児禁忌について

【当院採用のプロポフォール製剤】

- 1%ディプリバン注-キット (50mL/A)
- プロポフォール静注1%20mL「マルイシ」
- プロポフォール静注2%50mL「マルイシ」

【効能効果】

- 全身麻酔の導入及び維持
- 集中治療における人工呼吸中の鎮静



概要

全身麻酔薬であるプロポフォール製剤は、
「集中治療における人工呼吸中の鎮静」に対する
小児への使用は禁忌となっております

※「全身麻酔の導入及び維持」に対しては禁忌となっておりますが、小児等を対象とした臨床試験は実施されていません

注意すべきポイント

プロポフォールを高用量・長期に投与することで、
プロポフォール注入症候群 (PRIS) と呼ばれる重篤な
合併症が引き起こされることがあります

小児での人工呼吸中の鎮静に用いると、PRIS発症
の危険性が高いと考えられており、禁忌となっております

2014年に他院で2歳患児に集中治療室でプロポフォールの長時間・大量投与によりPRISを発症し死亡したと考えられる事例が報告されております



プロポフォール注入症候群 (PRIS)

- ・プロポフォールの高用量・長期投与に関連する、**稀ではあるが致死性の合併症**
- ・**4mg/kg/h以上を48時間以上続けないことが推奨されている**
- ・代謝性アシドーシス、高脂血症、肝腫大、横紋筋融解、心不全、高カリウム血症などを主な症状とする
- ・ミトコンドリア機能抑制が主な機序と考えられている
- ・発症すると投与中止以外に効果的な治療法はなく、**発症予防が極めて重要**